

ひろしま住まいづくりコンクール 2023 空き家再生部門奨励賞

受け継ぐ家 ～“古さ”と“新しさ”の融合～ [東広島市]

[建築主] 非公表
[設計者] 高坂 悠里 [高橋工務店株式会社] TEL : 0823-34-5585
[施工者] 小野 浩一郎 同上 同上
[企画立案者] 高橋 正人 同上 同上



リビングダイニングは天井を屋根なりの勾配天井として、広々と感じられる空間とした。



←リビングダイニングは既存の梁を現わすことで、古民家の雰囲気を残しつつ、都会的なデザインにも溶け込むよう考えた。

工事前の状態。
工事後に表れている梁の部分などは、既存の骨組みをそのまま使っていることが分かる。 →



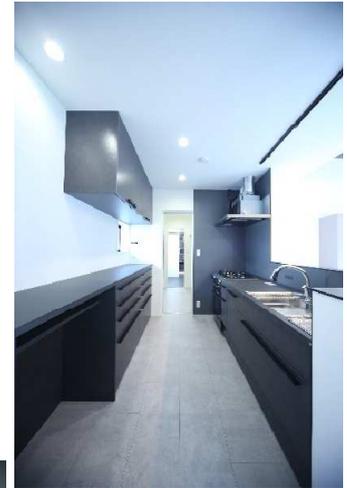
◆創意工夫点（高坂 悠里さん）

お施様のご実家の敷地内にある約築 40 年の空き家を生世帯 4 人が住もうために再生した。限られたスペースにご家族 4 人それぞれの居場所をつくり、家事楽をテーマにした機能的な部屋を配置した。また、可能な限り断熱・気密性能を向上させ、末永く快適に暮らせるよう計画した。親世帯から受け継いだ建物の古き良き部分は残しつつ、内装は生世帯が希望する都会的なデザインとし、古さと新しさの融合を実現した。

工事後図面



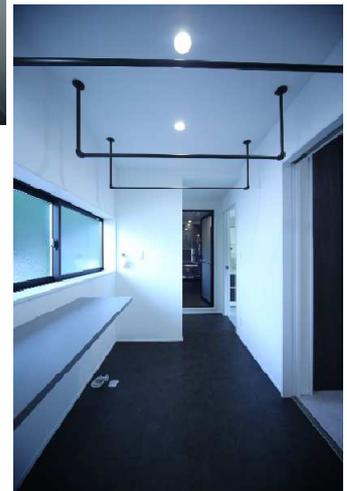
←縦長の建物であるが合理的な間取りになっている。最も日当たりのよい南東に家族の集まるリビングを配置している。また、家事動線にも配慮されており、キッチンからランドリールーム、風呂場、洗面まで一直線上に配置されている。



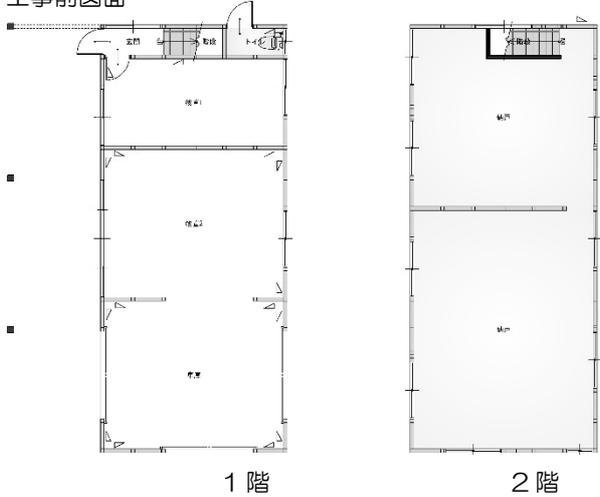
↑ キッチンからファミリークローゼットを見る。

←続いてファミリークローゼットからランドリーを見る。

ランドリーから脱衣所を見る。家事動線を考えたプランとなっている。↓



工事前図面



←廊下の窓からの採光を、外壁に面していない寝室へ間接的に取込むため室内窓を設置した。

室内窓から間接的に取込んだ光が優しく寝室を照らす。 →



作品概要	
構造	木造 2 階建て
工事の竣工	令和 5 年 7 月
築年数	42 年
世帯構成	夫婦、子ども 2 人

◆建築主と設計・施工者の主なやり取り

[建築主さん]：共働きで家事は妻がこなすため、家事負担を減らす間取りにしたいです。

高坂さん　：キッチンからの家事動線に配慮して、ランドリールーム、ファミリークローゼットといった機能的な部屋を直線上に配置した。

[建築主さん]：家族団らんの場所となるような、居心地の良いリビングが欲しい。

高坂さん　：もっとも景色の良い南東角にリビングを配置しましょう。また、天井を元の屋根形状を活かして広く感じられるよう計画します。